

困ったら
一人で悩まないで

行政相談を行います



■行政と皆さんをつなぐパイプ役

行政相談委員は、皆さんから年金、税金、登記、道路、河川、窓口サービスなど、国や地方業務の苦情・要望・意見をお聞きして、改善を図ります。

■相談は無料で、秘密を守ります

相談窓口はもちろん、電話や手紙などでも相談を受け付けます。お気軽に行政相談委員にお申し出ください。

行政相談委員とは・・・

総務大臣から委嘱を受けた民間有識者で、住民の相談相手として、国の仕事に関する苦情や要望を受け付け、その解決を図る行政相談業務を行います。



行政相談委員 大島 政勝さん
湯地 ☎ 72-5110

【問い合わせ】

町総務課広報・防災・情報グループ ☎ 73-7501

令和2年度 行政相談日程

月日	時間	場所
6月2日(火)	10:00 ～ 12:00	農村環境 改善センター 1階 研修室A
8月4日(火)		
10月6日(火)		
12月1日(火)		
2月2日(火)		

※4月の開催は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止します。

元気が一番

保健のお知らせ

【問い合わせ】町住民保健課 健康推進グループ ☎ 73-2256



なくそう！望まない受動喫煙

マナーからルールへ
改正健康増進法が令和2年4月1日に全面施行

- ◆基本的な考え方
- ・望まない受動喫煙をなくしましょう
- ・子どもや妊婦、病気の方に特に配慮しましょう
- ・施設の種類や場所ごとに対策を実施しましょう

令和元(2019)年	令和2(2020)年
7月	4月
1月24日 一部施行 (喫煙する際は周囲の状況に配慮)	
7月1日 一部施行 (学校・病院・児童福祉施設・行政機関の庁舎など) 敷地内禁煙 (屋外に喫煙場所の設置が可能)	
はじまっています	4月1日 全面施行 (上記以外の施設など) 原則屋内禁煙 (喫煙専用室の設置が可能)

改正健康増進法の詳しい情報は、

厚労省 受動喫煙 検索



または

北海道 たばこ 検索



★令和2年度版「元気が一番！保健サービスガイド」★

今月号の広報くりやまに「元気が一番！保健サービスガイド」を折り込みました。

がんの早期発見にはがん検診、生活習慣病・重症化の予防には年に1度の健康診断を受け、自分の身体の状態を知ることが何よりも大切です。

日程や健診医療機関は「元気が一番！保健サービスガイド」の4～7ページを参考に、ご自身にあった健診をお選びください。

献血のお知らせ

【月日】 4月15日(水)

【場所・時間】

南空知消防組合消防署	9:30～10:30
北海道介護福祉学校	12:00～13:00
JAそらち南継立出張所	13:30～14:30
栗山赤十字病院	15:00～16:30

栗山町
令和2年度
保存版

元気が一番！ 保健サービスガイド

KURIYAMA TOWN HEALTH SERVICE GUIDE

健康寿命延伸のまちづくり宣言

わたしたち栗山町民は、一人一人が生きがいを持ち、安心・安全で豊かな暮らしを健康に営むことができる笑顔あふれるまちを望みます。
自らの健康は自らつくるを基本に、町民同士がしっかりと支え合いながら、健康を守るためのまちづくりを通して、健康寿命の延伸を目指すために健康寿命延伸のまちづくりを宣言します。

- 一、自分の健康に関心を持ち、自らの健康管理に努めます。
- 一、家族みんなで、健康的な生活習慣に努めます。
- 一、町民みんなの力で、心と体の健康を支えるためのまちづくりに努めます。

ちくじ

- くりやまの国保を知ろう……………2-3
- 特定健診のご案内……………4-5
- 生活習慣病予防健診のご案内……………6
- いきいき健診・歯科健診のご案内……………7
- がん検診のご案内……………8
- その他検診のご案内……………9
- 集団健診のご案内……………10-11
- お母さんと子どもの健康……………12-13
- 予防接種……………14-15
- 健康相談・救急医療相談のご案内……………16

保健サービスガイドに関する
お問い合わせ
栗山町住民保健課健康推進グループ
☎ 73-2256

〒069-1512
栗山町松風3丁目252番地
栗山町役場1階
月～金 8:30～17:15 (祝日除く)

No.44

こんにちは！町史編さん室です

「謎の人物」②
札幌農学校農芸伝習科卒業生

昨年の広報くりやま10月号で、北海道大学附属図書館の北方資料室に残された1枚の写真から、明治期に栗山(当時は角田村)に入植した帖佐亥之助という人物を紹介しました。彼は簡易な西欧農法などの農事教育を施す目的で、明治20年に設けられた「札幌農学校農芸伝習科」の3期生です。明治22年に入学、24年に卒業し、角田村に入植しました。

実は明治期の角田村の開発には、この農芸伝習科卒業生が多く参加していました。当時の新聞紙面には、泉麟太郎と共に戸長役場誘致の運動員として、帖佐の名があります。明治30年の開村10年記念祭にも名があり、当時の角田村でも有力な人物の一人だったようです。

残念ながら、その後の角田村に帖佐亥之助の記録は見つからず、昭和元年の北海道大学同窓生名簿に、遠く十勝の居住歴が載せられているだけです。数少ない資料からは角田村の入植



札幌農学校農芸伝習科の学生
(明治29年)(北海道大学文書館提供)

【問い合わせ】
町史編さん室
☎ 7820

実態や、その後を探ることはできませんでした。

今も栗山の歴史に名を残す、村上儀助、小島小治郎、石原市助、内田栄三郎、周田順信などの農芸伝習科の卒業生たちと共に、初期の角田村で地域開発の先人だったことは想像に難くありません。ただ、一世紀余を経た今も「謎の人物」のままです。(青木)